

**「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書**

4-I-12

4-I-12

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	上越新幹線・北陸新幹線を活用したアクセスルートの周知・利用拡大
	節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	12 広域アクセスルートの広報促進		事業主体	県観光企画課
	事業実施期間	H28～R4		関連団体
事業概要	【事業目的】	○上越新幹線と北陸新幹線を活用した周遊ルートの周知・利用拡大を図る。		
	【事業内容】	○首都圏・関西圏から佐渡までのアクセスルートについて、パンフレット、チラシ、ホームページ等での情報提供のほか、旅行代理店へのアプローチを行う。		
R元事業計画と実績	【元年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●旅行エージェントや交通事業者を対象とした観光商談会、旅行エージェント招聘の実施 ●JR西日本及び航空会社と連携した情報発信、旅行商品の販売促進 ●デスティネーションキャンペーン(DC)を契機とした佐渡観光PR 		
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●観光商談会を首都圏・関西圏で各2回実施。4月にJR西日本と連携・6月にJALと連携し旅行代理店の現地視察(金銀山関連施設含む)を実施。ANAと連携し、モニターツアーを実施。 ●JR西日本「北陸信越トリップ」内に特設サイトを開設、大阪駅構内にて佐渡エリアを含むDC用柱広告及びパネル展示を実施。 ●DC用の佐渡エリアガイドブックを作成し、佐渡金銀山に関する観光施設を紹介。 		
課題・今後の取組	【課題】	■周遊ルートの周知拡大を図るため、引き続き島内、対岸市を含めた周遊ルートの魅力向上を図り、情報発信をしていくことが必要である。		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■2019年のDC後を見据え、継続した首都圏旅行エージェント等への情報提供などを通じて、周遊ルートの周知拡大を図る。 ■JR西日本との連携を中心に関西圏からの旅行商品の造成、販促等を行い、周遊ルートの周知拡大を図る。 		
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) c]	◇イベントの開催、旅行商品の販売促進により、周知、利用拡大を図ることができた。	
	【事業実施の効果】	[a (b) c]	◇旅行エージェント招聘の結果、佐渡金銀山を含む団体旅行商品の造成、販売がされた。	
	【総合評価】	[A (B) C]	◇広域アクセスルートの魅力向上を図り、旅行エージェントへのアプローチや情報発信強化に取り組んで行く。	

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。